



※イラストの指文字は相手から見た形です。

手話も 覚えてみよう

vol.34

○障がい者就業・生活支援センター

障がいのある人の就業やそれに伴う日常生活についての相談・支援を行うサポート機関です。

就職に向けた準備や活動を支援し、就職後も職場定着のために訪問を行います。本人の困り事の相談に応じるほか、職場にも障がい者雇用の助言を行います。生活面では、日常生活の自己管理や生活設計の相談に応じています。

また、必要に応じて関係機関（ハローワーク、職業センター、福祉事務所など）と連携し、自立・安定した職業生活の実現のための支援を行います。

やってみよう！～身近な言葉の手話～

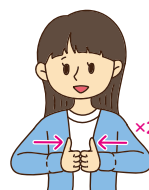
普段使う言葉を手話でやってみましょう。 ※QRコードを読み込んで、手話の動画を見ることもできます。

ハローワーク



指先を閉じた右手を頭の横から前に出し、次に両方の手のひらを上に向け、指先を左右から2回近づける。

相談



両手の親指を立て、左右から2回軽くくっつける。

問い合わせ先 福祉支援課障がい福祉担当 ☎(584)1111(代) 📠(584)1154



vol.27

自治会通信

自治会加入が暮らしの安心につながります



自治会加入
申し込みは
こちら

★表紙写真「オリジナルヒーロー：ダイイチソルジャー」
その正体は…自治会で積極的に活動する高校生です。

本間舜八さん(17歳 須玖北地区)

●自治会活動に携わるようになったきっかけ

コミュニティ・スクールで自治会と関わったことをきっかけに、小学生の頃はほとんどの自治会行事に参加していました。秋枝自治会長をはじめ、地域の皆さんが温かく迎えてくれるので、気づいたら手伝うようになっていました。

須玖北地区は、自分のペースで自治会活動に参画することができます。私も、行けるときに公民館に向かい、行事の準備などその時できる仕事を見つけて手伝っています。気軽に参加することができるのが魅力です。

●得意なこと地域に貢献

昨年、自治会の行事でオリジナルヒーローショーを披露しています。スーツアクターを始めた自治会長に話した際、「ぜひみんなの前で披露してほしい」といわれ、活動が始まりました。在学する福岡第一高等学校で

パラマ塾という活動があり「特撮研究会」に参加しています。キャラクターやスーツのデザイン、音楽や演出などを自分たちで考え、自分たちで手作りしています。キャラクター姿で登場するとたくさん子ども達が集まってきて、とても盛り上がります。自分の得意なことで地域に貢献できたことがうれしかったです。

●皆さんにメッセージ

自治会活動に携わることで、住んでいる地域への愛着がさらに高まりました。この地域の温かさや魅力を、これからもずっと大切にしていきたいです。

皆さんも就職や進学で他の地域に行くことになっても、自分のふるさとのことを決して忘れないでほしいです。



▲自治会活動の魅力を語る本間さん

問い合わせ先 地域づくり課協働推進担当 ☎(584)1111(代) 📠(584)1153